

2021年度 公益社団法人日本地すべり学会 事業計画

1. 総務部

(1) 行事

- ① 通常社員総会の開催：2021年6月11日(現地開催, オンライン, ハイブリットにするかも含めて検討中)
- ② 理事会の開催：年4回の予定
第1回2021年5月14日、第2回2021年9月、第3回2021年11月、
第4回2022年3月を予定
- ③ 役員選挙の運営：2021年12月～2022年3月
- ④ 次年度社員総会の準備：2022年6月を予定

(2) 庶務

- ・議事資料および議事録の作成
- ・定款・規則・細則の見直し、整備
- ・会員数対策WGの補助
- ・若手対策事業の補助

(3) 財務

- ・決算書および予算書の作成

(4) 広報

- ・HP内容の更新および情報の充実
- ・会員管理システムの維持(メールリスト管理)と情報発信の促進
- ・SNSの活用

(5) 部会

- ・年2回程度の開催を予定

2. 事業計画部

(1) 2021年度シンポジウムの開催

- ・日時：2021年6月25日
- ・会場：オンライン開催(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため)
- ・テーマ：地すべりと地質 ―地質学で地すべりを解剖する―

(2) 第60回研究発表会及び現地見学会(北海道札幌市)の開催

① 道民講演会

- ・日時：2021年9月14日
- ・会場：札幌市教育文化会館

② 開会式・特別講演・研究発表会

- ・日時：2021年9月15日～9月16日
- ・会場：札幌市教育文化会館

③ 意見交換会

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

④ 現地見学会

- ・日時：2021年9月16日日
- ・見学地：3コースを予定(うち2コースは9月18日のみ)

(3) 地すべり・土石流災害調査報告会

- ・研究調査部と共催（予定）

(4) 部会

- ・年間 6 回(偶数月)の開催を予定

3. 編集出版部

(1) 編集委員会活動

①編集委員会の開催(12 回)

②日本地すべり学会誌 Vol. 58(3)～Vol. 59(2)の刊行(6 回)

特集号の企画：

- ・58(6)「“WLF5 の地すべり学会企画セッション” の特集」
- ・59(2)「雪氷圏の地すべり」

※58(4)は一般号に変更

③日本地すべり学会誌電子ジャーナル(J-stage)の刊行

- ・会員は全号閲覧可能・非会員は 1 年以前閲覧可能

④検討中の事項

- ・特集号の企画
- ・シリーズ(「地すべりキーワード 101」、「地すべり探訪」)の継続、講座・シリーズの企画、フォーラム、談話室の充実
- ・投稿を促進する方策

⑤技術報告賞および査読者賞の候補者選定

(2) 出版委員会活動

①委員会の開催(定例 4 月、必要に応じて適宜開催)

- ・出版・販売計画の作成
- ・出版・販売促進活動の実施

②検討事項

- ・著作権整理、内規等の改訂

③出版企画の審査（必要な場合）

4. 研究調査部

(1) 研究助成

昨年度からの継続課題は以下の 1 課題である。これについては前年度の活動の報告書を元に継続審議を行う予定である。

- ・白馬大雪渓周辺の岩盤斜面の連続モニタリング:奈良間千之(2019～2021 年度)
また新規課題を 1 課題募集する。

(2) 研究委員会

以下の 6 つの研究委員会の活動を継続して行う。

- A：斜面動態モニタリングデータに基づく崩壊発生予測研究委員会、2017～2022 年、
代表：笹原克夫
- B：雪氷圏の地すべり研究委員会、2018～2021 年、代表：岡本隆
- C：地震時地すべり研究委員会、2018～2023 年、代表：土井一生
- D：すべり面および移動体の物質科学・構造研究委員会、2019～2024 年、
代表：中村真也
- E：地すべり地形判読の先端的な技術伝承手法の開発研究委員会、2019～2022 年、
代表：佐藤剛
- F：地すべりブロックの設定に関する研究委員会、代表：林一成

上記について必要な委員会については委員の追加の公募を行う。

また今年度も新規の研究委員会テーマ及び委員の公募を行う。

(3) 地すべり・土石流災害調査報告会

今年度も例年実施している災害調査報告会を11月に開催する予定である。

(4) 研究調査部会

9月の研究発表会に合わせて部会を開催する。また必要に応じてメール審議による部会を開催する。

5. 国際部

(1) ICL への各種協力

- ① WLF5 京都大会開催への作業協力
- ② 学術雑誌 Landslides の編集作業協力
- ③ その他の協力

(2) 2021 年度会合(全国大会時を予定)

2021 年 9 月札幌大会

(3) 海外研究者の招聘講演

- ・ WLF5 来日研究者等による技術講演会

(4) その他の継続審議課題の検討

- ・ 新たな国際会議の企画、運営支援の可能性
- ・ SATREPS に関連したシンポジウムの企画の可能性
- ・ 日本地すべり学会の出版物の ICL 経由の宣伝の可能性
- ・ 「斜面防災技術国際化委員会」との連携

6. 表彰委員会

(1) 学会賞(論文賞・技術報告賞・査読者賞・研究奨励賞・谷口賞・国際賞及びその他の賞の審査)

- ・ 審査(推薦締め切りは 2021 年 3 月 1 日)

- ・ 表彰式(2021 年 9 月 15 日、札幌市教育文化会館)

2020 年度はコロナ禍のため、研究発表会は中止した。2020 年度の表彰者の表彰も併せて行う。

(2) 名誉会員候補の検討

7. 解説委員会

(1) 解説委員会の開催

9月の研究発表会に合わせて委員会を開催する。また、必要に応じてメール審査による委員会を開催する。

(2) マスコミ対応

災害等におけるマスメディアからの取材依頼等に個別に対応する。

8. ICL 委員会

(1) 日本地すべり学会の ICL-IPL 活動の企画と調整を行う。

(2) 1 年延期となった第 5 回斜面防災世界フォーラムを ICL と共催する。

(3) 第 5 回斜面防災世界フォーラムに地すべり学会が企画する電子プロシーディングセッションを実施する。

(4) 第 5 回斜面防災世界フォーラムで、地すべり学会が企画する 1 ページアブストラクト発表

- セッション「日本政府の地すべりに対する対策と施策」を実施する。
- (5) そのために年間3回程度の委員会を開催する。

9. 会員数対策

(1) シニア

春期：談話会

秋期：関東近辺の地すべり巡検

(2) 若手

- ・支部の若手会員数対策担当との意見交換会
⇒支部の活動事例の紹介、活動案の提示、要望の聞き取り等
- ・若手・中堅会員を対象とした講習会等の企画・実施
- ・『地すべり CIM クラブ』（仮称）の始動
- ・若手対策事業の支援
⇒各支部における若手活動への財政・企画支援
- ・若手会員数対策（案）の整理

(3) その他

- ・周辺領域の学・協会との連携強化のため、積極的にシンポジウムに講師を招聘したり、当学会から講師を派遣したりする。
- ・機会を捉えて、周辺領域の学・協会へのパンフ・入会案内の配付を継続する。

10. 斜面防災技術国際化委員会

- (1) 海外での斜面对策工の設計に関する課題を整理し、設計技術解説書（日英版）等の整理を行う。
- (2) 設計技術解説書の英訳を行い、2021年11月開催の第5回斜面防災国際フォーラムにて設計技術解説書（概要版・英語版）の配布を行う。
- (3) そのために原稿の推敲会議（年間10回程度）と年間2回程度の委員会を開催する。

11. 北海道支部

- (1) 支部総会：2021年4月23日、北海道大学学術交流会館（札幌市）で開催予定
- (2) 研究発表会：同上
- (3) 現地検討会：6～9月の開催を予定（場所未定）
- (4) 第1回支部運営委員会：6～7月の開催を予定
- (5) 技術講習会：6～9月の開催を予定
- (6) 第2回支部運営委員会：1～2月の開催を予定
- (7) 広報活動：支部ホームページ公開、通年
- (8) 社会貢献活動等：講師派遣、報道対応、災害調査、随時
- (9) 他学協会との交流活動
北海道地すべり学会、応用地質学会北海道支部、地質学会北海道支部
斜面防災対策技術協会北海道支部、北海道地質調査業協会など

12. 東北支部

(1) 支部事業

- ①2021年度東北支部総会・シンポジウム
 - ・日時：2021年5月14日 13:00～17:00
 - ・場所：少人数出席＋リモート開催

②2021 年度地すべり現地検討会

- ・日時：2021 年 10 月上旬から中旬(1 泊 2 日)
- ・場所：秋田県由利本荘市「崩ヶ沢地すべり」を予定

(2)会議

- ①役員会：2021 年 4 月上旬、2022 年 3 月中旬、必要に応じて随時
- ②幹事会：2021 年 8 月上旬及び 10 月、2022 年 2 月上旬、必要に応じて随時
- ③運営委員会：2022 年 3 月中旬

(3)若手育成事業

- ①「斜面変動研究のための次世代コロキウム」
 - ・年 5 回程度開催(仙台市内及び現地調査)、参加：20～30 名程度
 - ・砂防学会東北支部と連携
- ②継続的な現地調査・研究の検討
 - ・地すべり調査に係る研究テーマの提供の可能性について企画、検討する。

(4)広報・会勢拡大活動

- ①支部ホームページの常時更新、支部だより発行(2021 年 12 月)
- ②各委員会と連携し事業活動を通じた支部の宣伝活動

(5)社会貢献活動(出前講座、講師派遣等)

- ①連携各団体及び協会へ講師派遣(通年随時)
- ②緊急災害時の調査団派遣(通年随時)
- ③地すべり調査・設計に関する技術講座(官公庁向け・市民向け)の開催

1 3. 新潟支部

(1)2021 年度支部総会

- ・2021 年 5 月、Web にて実施予定

(2)2021 年度地すべり現地検討会・講習会の開催

- ・2021 年 10 月～11 月頃、新潟県内の地すべり地を予定、若手向けの講習会も同時に開催

(3)新潟県地すべり災害記録 CD 改訂版出版

- ・2022 年 1 月作業開始、5 月出版

(4)関連団体との連携

- ・新潟県地すべり対策研究会(事務局：新潟県砂防課)への参加

(5)幹事会

- ・支部幹事会を 2 ヶ月に 1 回の割合で開催

1 4. 関東支部

(1)支部総会：2021 年 5 月 7 日

- (埼玉県さいたま市(予定)、少人数定員制、事前決議書・委任状対応)

(2)関東支部 15 周年記念シンポジウム：2021 年 8 月

(3)現地検討会・講習会

- ・2021 年 5～7 月 1 回(オンライン講習会)
- ・2021 年 9～11 月 2 回程度

(4)共催行事

- ・2021 年 10 月(一社)斜面防災対策技術協会関東支部との共催

(5)運営委員会・幹事会等

①運営委員会

- 第 1 回 2021 年 4 月、第 2 回 2021 年 12 月

②幹事会

第1回 2021年4月、第2回 2021年6月、第3回 2021年9月

第4回 2021年12月、第5回 2022年3月

③(一社)斜面防災対策技術協会関東支部との定例会

2021年4月

(6)災害調査

- ・災害発生状況に応じて適宜実施

15. 中部支部

- (1)支部運営委員会：2021年4月下旬（オンラインまたは委任状開催の予定）
- (2)支部総会及び特別講演会：2021年4月下旬（オンラインまたは委任状開催の予定）
- (3)若手育成行事：実施の有無を含め検討中
- (4)現地見学会・検討会：2021年9月～10月 三重県(調整中)、Webで開催
- (5)第5回斜面防災世界フォーラム：2021年11月2日～6日(発表者として参加予定)
- (6)オンラインセミナー：2021年11月～12月
- (7)中部支部ニュースの発行：2022年3月31日発行
- (8)支部幹事会：年4回開催

16. 関西支部

- (1)第1回運営委員会：2021年4月2日、京都大学防災研究所
- (2)若手研究発表会：2021年4月14日、オンライン
- (3)総会、シンポジウム：2021年4月15日、オンライン
- (4)現地討論会：2021年10月予定、徳島県有瀬地すべり
(砂防学会中四国支部と共催)
- (5)第2回運営委員会：2021年11月予定、京都大学防災研究所
- (6)会誌「らんどすらいど」 No.37 発行：2022年1月 予定

17. 九州支部

- (1)幹事会：2021年4月または5月、オンライン開催または福岡市
- (2)総会：2021年5月中、オンライン開催
- (3)支部研究発表会：2020年6月、30周年記念講演会（オンライン開催を検討中）
- (4)現地検討会(支部主催)：開催しない方針で検討中
- (5)現場見学会(斜面防災対策技術協会九州支部・九州地区地すべり防止工事士会
(共催)：未定
- (6)技術検討会：2022年1月、沖縄県（オンライン開催も検討中）